

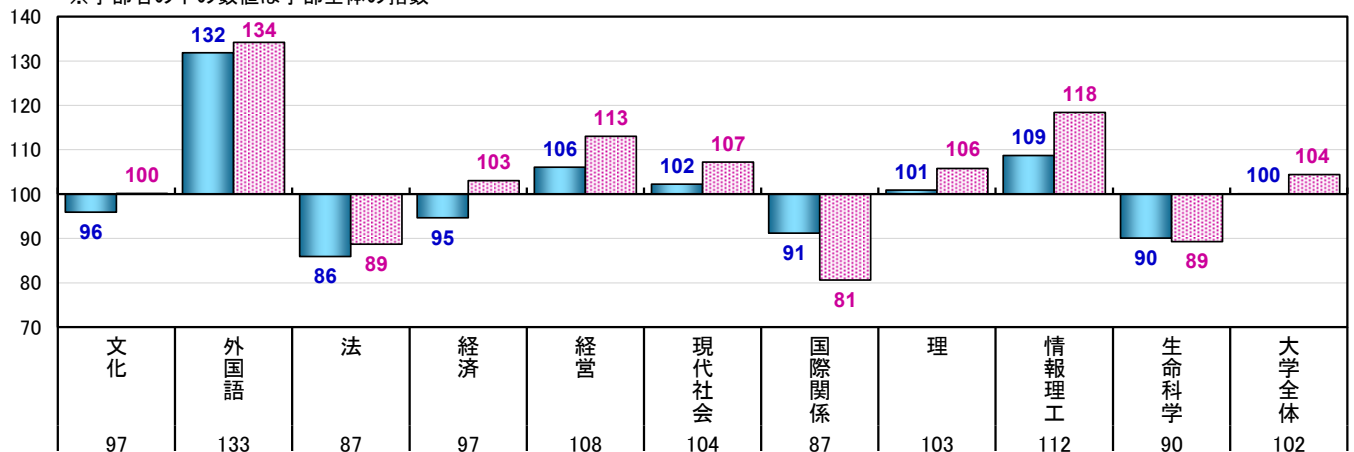
2020 年度入試状況分析【私立大】

京都産業大：大学全体では5年連続増加

一般：+30人 センター：+840人

※前年度の志願者数を100とする指数
※学部名の下の数値は学部全体の指数

■一般方式 ■センター利用方式



入試変更点	募集人員：外国語(ヨーロッパ言語)〈前期〉…56人→54人、経済〈前期〉…218人→217人 現代社会(健康スポーツ社会)…30人→29人 理(数理科学)〈前期〉…17人→19人、〈セ・後期〉…3人→2人 生命科学(先端生命科学)〈前期〉…31人→32人、〈セ・後期〉…4人→3人 (産業生命科学)〈前期〉…16人→15人
-------	---

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、870人(102)の微増だが5年連続増加。方式別では一般方式(100)が前年度並、センター方式(104)はやや増加。学部別では、外国語(133)の大幅増加が目立った。

- 〈一般方式〉
- 文化(96)は、前年度大幅減少の反動はなくやや減少し、2年連続減少。
 - 外国語(132)は、前年度改組の影響もあって大幅減少したが、反動で大幅増加。3学科全てが増加。
 - 法(86)は、前年度増加の反動で減少。学科別では、(法政策)(116)が大幅増加、(法律)(75)は大幅減少といずれも前年度と逆の増減。
 - 経済(95)は、2年連続増加の反動は小さくやや減少。
 - 経営(106)は、5年連続増加。方式別では、〈後期〉(80)は大幅減少だが、〈前期〉(110)、〈中期〉(108)は増加。
 - 開設2年目の国際関係(91)は、減少。3方式全てが減少し、特に〈後期〉(67)は大幅減少。
 - 情報理工(109)は、2年ぶりに増加。方式別では、〈前期〉(114)は増加。一方で、〈後期〉(80)は大幅減少。
 - 生命科学(90)は、前年度増加の反動で減少。学科別では、(先端生命科学)(86)は減少だが、(産業生命科学)(101)は微増。

- 〈センター利用方式〉
- 外国語(134)は、大幅増加。3学科全てが増加し、特に(アジア言語)(167)、(ヨーロッパ言語)(133)は大幅増加。
 - 法(89)は、4年連続増加の反動で減少。学科別では、(法律)(73)は大幅減少、(法政策)(129)は大幅増加と対照的。
 - 経済(103)は、やや増加だが3年連続増加。
 - 経営(113)は、5年連続増加。方式別では、〈セ・後期〉(72)は大幅減少だが、その他の方式では増加。
 - 現代社会(107)は、3年連続増加。学科別では、(現代社会)(113)が増加、(健康スポーツ社会)(98)は微減。
 - 開設2年目の国際関係(81)は、大幅減少。全ての方式で減少し、特に〈セ・後期〉(47)は志願者数が半減以下。
 - 理(106)は、5年連続増加。学科別では、(宇宙物理・気象)(90)は減少だが、他の2学科は大幅増加。
 - 情報理工(118)は、大幅増加。募集人員が減少の〈セ・後期〉(63)は大幅減少だが、その他の方式は増加。
 - 生命科学(89)は、3年連続増加の反動で減少し、2学科とも減少。